

要請番号 (JL25123B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パナマ	C103 野菜栽培	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2024/2・2024/3・2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

カピラ中高等職業技術学校

3) 任地 (西パナマ県カピラ市) JICA事務所の所在地 (パナマ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

地方の小都市郊外にある生徒数約1,600名、教員数109名の大規模な中高併設の学校。高等部は科学、商業、農業の3科からなり、農業科の生徒数は約400名、14名の専科の教師により、教室及び校内(敷地31ha)の牧場、圃場、養殖池にて各種授業・実習(乳牛、肉牛、豚、鶏など家畜飼育管理、養蜂、淡水魚養殖、野菜や果樹の栽培等)が行われている。圃場にはビニルハウスや簡易灌漑施設もある。これら家畜飼育や作物栽培技術の他、有機肥料、病虫害対策、食品保存技術、食肉・食品加工についても授業が行われている。卒業生は主に大学進学、農場での就業、農業系企業への就職。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では、農牧業技術者でもある経験豊富な専科の教師により、各種座学、実習指導が行われている。ただし、それら教師も新技術等に関する知識のアップデートが必要であり、新しい栽培技術や管理方法を取り入れ、授業・実習内容の質を向上するために、JICA海外協力隊の派遣による支援が求められた。隊員へは、同僚が実施する授業向上のためのサポート、農業実習において有機野菜栽培や有機肥料などを含む、効果的かつ市場ニーズにあった栽培管理方法に関する助言やサポートが期待される。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 授業、実習を観察し、現地教員とより良い授業実施に向けての提案、意見交換を行う。
 - 授業、実習や、圃場での作物栽培において、土壌管理、病虫害対策、有機肥料等を含め、技術的な助言サポートを行い、知識・技術の交流、共有を図る。
 - 研修や勉強会を企画し、現地農牧業のニーズに応じた知識のアップデート支援を行う。
 - 実習運営管理の改善サポート(機材工具の管理、安全衛生、小規模灌漑等の栽培環境整備など)が行えれば尚良い。
- ※現在圃場で主に栽培されている作物は、きゅうり、トマト、クラントロ(香菜)、ピーマン、コーヒー、水稻、トウモロコシ、ニヤメ、ユカ、かぼちゃ等。果樹はグアバ、ゴレンシ、バナナ、調理用バナナ等。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

一般農機具、圃場にある小規模ポンプやビニルハウス、苗床等各種施設。トラクターや耕運機等もあるが、隊員による使用は想定していない。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:農業技師(教師)9名、植物病理学教師1名、畜産学技師(教師)4名(大卒、年齢・経験は様々)

活動対象者:上述の専科教師ほか、学校内の教師、高等部農業科の生徒約400名。

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：()

[学歴]：(大卒) 農学系 備考：専門的、学術的な知識が必要

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(25～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】